

みんなで知ろう！考えよう！行動しよう！

Let's! 男女共同参画

Vol.12

9月1日(日)は防災の日です

☎ まちづくり推進課男女共同参画推進室 ☎23-2103

私たちの地域の中にはさまざまな人々が暮らしており、災害時には皆で助け合うことが大切です。また、高齢の人、障がいのある人、乳幼児、妊産婦、外国人、性的少数者など、全ての人たちへの人権尊重が必要です。

全ての人たちが、どんな条件であっても生き延び、安全・安心で、できるだけ快適な生活が送れるようにするためには、女性と男性が災害から受ける影響やニーズの違いに配慮するとともに、性的少数者への配慮を行うなど、男女共同参画、ジェンダー平等の視点を取り入れた防災対策が必要です。

災害時に男女共同参画、ジェンダー平等の視点から取り組むことができるように、平時からお互いを知る機会を持ち、地域の防災力を高めましょう。



図書館だより ☎22-0002

Vol.217 敬老の日にちなんで

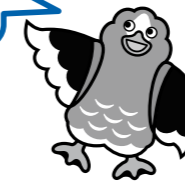
『多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う』日と定めている敬老の日。この世に生まれたこと、そして長生きできることは、素晴らしい奇跡です。いつかは誰もが年齢を重ね老いていくもの。どのように老いを捉え、これから生きていきたいか。先人たちを手本に考えてみてはいかがでしょうか。

おはなし会(絵本などの読み聞かせ)

毎週水曜日 10時30分～11時(対象:0歳～2歳)

毎週土曜日 10時30分～11時(対象:幼児～小学生)

おすすめの本を
読んでみよう!!



『成熟脳 脳の本番は56歳から始まる』
黒川 伊保子 著
新潮社 刊



『よき時を思う』
宮本 輝 著
集英社 刊



『エマおばあちゃん』
ウェンディ・ケッセルマン 文
バーバラ・クローニー 絵
もき かずこ 訳
徳間書店 刊

ヒトの脳の一生は、7年ごとに段階を経て、56歳で最高潮期の始まりを告げるといふ。人工知能の研究者で、ラジオのパーソナリティーも務める著者のユーモアがちりばめられた脳科学エッセイ。

祖母自身が90歳の記念に、愛する家族を招き催す豪華絢爛な晩餐会。四合院造りの古い家に住む孫の綾乃の目を通し、祖母の秘められた生涯、晩餐会の真意を丁寧に描く物語。

ひとりで暮らすエマおばあちゃん。72歳の誕生日に、子どもや孫たちから故郷の村の風景画が贈られました。でも、覚えている村とはまるで違うもの。そこで自分で絵を描くことを決心して…。

9月の移動図書館「きらり号」

古川地域	4日(水)・18日(水)	9:45～10:30 清滝地区公民館
松山地域	6日(金)・20日(金)	9:50～10:35 松山駅前区集会所 11:10～11:55 下伊場野水辺の楽校駐車場
	13日(金)・27日(金)	9:50～10:35 松山公民館
三本木地域	6日(金)・20日(金)	13:40～14:25 三本木総合支所駐車場 14:50～15:40 南谷地集会所
鹿島台地域	13日(金)・27日(金)	11:05～12:05 鹿島台総合支所駐車場
		13:25～14:25 鹿島台公民館 14:55～15:25 旧鹿島台第二小学校
岩出山地域	4日(水)・18日(水)	11:00～11:45 真山地区公民館
		13:40～14:25 有備館の森公園駐車場
		14:50～15:35 ウジエスーパー岩出山店
11日(水)・25日(水)	13:30～14:15 あ・ら・伊達な道の駅	
	14:45～15:30 スーパーセンタートラスト岩出山店	
鳴子温泉地域	5日(水)・26日(水)	10:40～11:25 鬼首地区公民館
		13:05～13:50 中山コミュニティセンター
		14:15～15:00 湯めぐり駐車場
11日(水)・25日(水)	10:10～10:55 鳴子総合支所駐車場	
	11:20～12:05 川渡地区公民館	
田尻地域	10日(水)	10:35～11:35 大貫地区公民館
		13:05～14:00 沼部公民館
		14:25～15:20 ウジエスーパー田尻店

※悪天候などの事情で、運行を中止・変更する場合があります。

大崎市公式SNS 発信中です!



図書館



大崎市



大崎市民ギャラリー
(緒絶の館)

X (旧Twitter)



男女共同参画相談室
With おおさき



大崎市民会館・
大崎市祥雲閣



Instagram



LINE



Facebook

☎ 秘書広報課広報広聴担当 ☎23-5023

天地人

市長コラム

水害から命と生業を守る

今年もまた全国各地で記録的な大雨によって、大きな被害が発生しており、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。本市においても、平成27年9月関東・東北豪雨、令和元年東日本台風、令和4年7月豪雨と大規模な被害に見舞われております。

世界農業遺産にも認定された大崎耕土は、平時には「豊饒の大地」「桃源郷の里」のように豊かで住みやすい地ですが、大雨が降ると急峻な山地から雨水が一気にあふれ出し、勾配が緩く、川幅も狭い下流部で水害が発生しやすい地形的特性を有しております。

これまでも減災・治水対策として、築堤、河道掘削、下水道整備、排水施設整備などに取り組んでまいりましたが、近年の頻発化、激甚化する豪雨に、従前の豪雨対策の脆弱性を感じてきたところでありました。

大崎市では今水害と闘ってきた先人の努力と知恵に

学び、2年間におよぶ「水害に強いまちづくり共同研究」を取りまとめ、「地域を『みず』から守る」流域治水型の新たな「新・水害に強いまちづくり」を始めました。従前の事業の機能向上に加え、吉田川・高城川の東北初となる特定都市河川の指定、多田川水系の特定都市河川指定に向けた検討、グリーンインフラ活用としての田んぼダム事業、上流部への植林事業、マイタイムライン作成講習会、小・中学校での防災教育、宅地かさ上げ等補助事業、そして名蓋川災害復旧事業の着工、鳴瀬川上流への国直轄による鳴瀬川ダムの着工などです。

着実な事業推進により「水害から命と生業を守る」安全・安心まちづくりを実現してまいります。

大崎市長 伊藤康志

